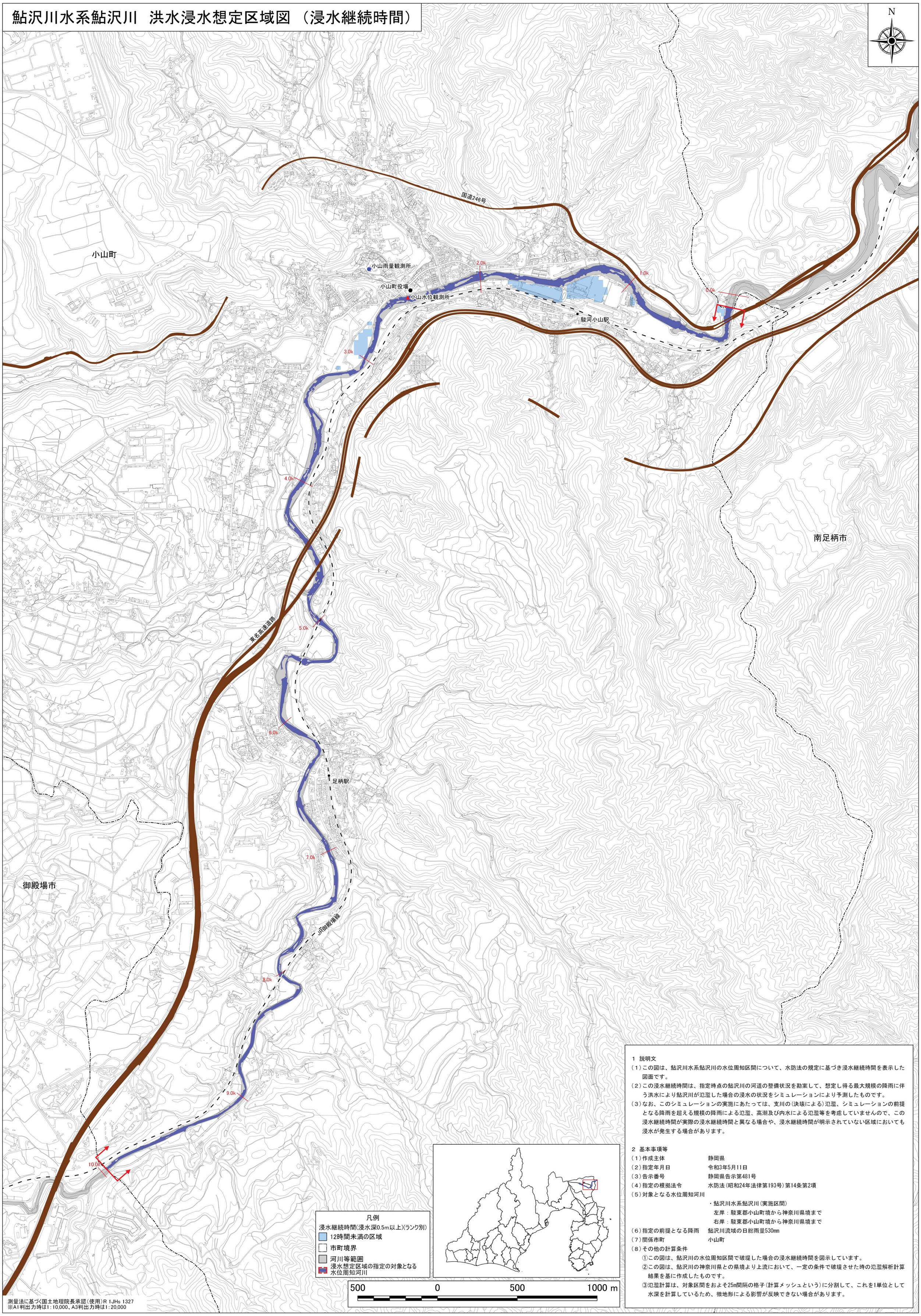
鮎沢川水系鮎沢川　洪水浸水想定区域図（浸水継続時間）



測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 1JHs 1327
※A1判出力時は1：10,000、A3判出力時は1：20,000

1　説明文

（1）この図は、鮎沢川水系鮎沢川の水位周知区間について、水防法の規定に基づき浸水継続時間を表示した図面です。

（2）この浸水継続時間は、指定時点の鮎沢川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により鮎沢川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（3）なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。

2　基本事項等

（1）作成主体　静岡県

（2）指定年月日　令和3年5月11日

（3）告示番号　静岡県告示第481号

（4）指定の根拠法令　水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項

（5）対象となる水位周知河川

・鮎沢川水系鮎沢川（実施区間）

左岸：駿東郡小山町境から神奈川県境まで

右岸：駿東郡小山町境から神奈川県境まで

（6）指定の前提となる降雨　鮎沢川流域の日総雨量530mm

（7）関係市町　小山町

（8）その他の計算条件

①この図は、鮎沢川の水位周知区間で破堤した場合の浸水継続時間を図示しています。

②この図は、鮎沢川の神奈川県との県境より上流において、一定の条件で破堤させた時の氾濫解析計算結果を基に作成したものです。

③氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。